

成果指標				
成果指標	管理費等執行状況			
指標設定の考え方	利用効果については施設利用者数(入込客数等)によるが、管理運営については公園内草刈りとトイレ管理程度であるため、予算執行状況とした。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目標	862千円	975千円	0	0
実績	817千円	905千円	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	定期的な点検により、適正な修繕等を行い、利用者の利便性向上に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	当森林公園内の遊具等施設の老朽化が進んでおり、計画的に修繕を行い利用者の利便性の向上を図るとともに、市民に潤いと憩いの場になるよう施設管理を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題